

資金供給がもたらす絶滅

エグゼクティブサマリー（事業計画書）

私たちは現在、大量絶滅の危機の渦中にいる。「人新世（アンドロポセン）絶滅」と称される今回の絶滅は、人類が原因で引き起こされた、今までに類を見ないものである。人類はこれまでも地球のほぼ隅々まで影響を及ぼして来たが、今や回復に数百万年もかかりかねない地球の境界域に近づいていると言える。¹ 科学者達は、「生物学的全滅」について警告している。²

この問題点に関して、政府や企業が注目の的となる一方で、金融セクターの関係者は、その大部分が最近まで詳しい取り調べを免れてきた。

この報告書は、銀行が自然破壊にどのように資金提供を行っているかを示すものである。

- 2019年に世界最大級の銀行が、2兆6000億米ドル（カナダのGDP[国内総生産]とほぼ同額）超を、政府や科学者達が生物多様性の破壊の主な推進要因であると認めるセクターに投資している。
- 重要なのは、評価の対象となった銀行のうち、その融資が生物多様性にもたらす影響を監視または測定するのに十分なシステムを導入することを選択した銀行も、これを阻止するための総合的政策を策定している銀行も皆無だったことだ。
- 銀行は、生物多様性に便乗して恩恵に預かっている金融システムにおいて重要な役割を果たしており、現在銀行を統治している規制機関および規則によって、因果的な結末を免れている。

金融セクターは大量絶滅の危機に資金供給を続ける一方で、人権や先住民の統治権を弱体化させている。この報告書は以下の内容を求めるものである。

- 銀行に情報を開示し、自然への影響を徹底的に減らして、新たな化石燃料、森林破壊、魚の乱獲、生態系の破壊への投資を止めてもらうこと。
- 政府に生物多様性の破壊における銀行の役割を保護することを止めてもらい、融資に起因する損害に対して、銀行に責任を取らせるように規則を書き換えてもらうこと。
- 世界中の人々に、自分の財産がどのように投資に使われているかに関して発言する権利と、銀行が人々や地球に重大な危害をもたらすのを止めさせる権利を持たせること。

この問題が重大である理由

¹ Barnosky, A.D. et al. (2012). Approaching a state shift in Earth's biosphere. *Nature*, 486, 52-58.

<https://doi.org/10.1038/nature11018>

² Ceballos, C. et. Al. (2017). Biological annihilation via the ongoing sixth mass extinction signalled by vertebrate population losses and declines. *PNAS*, 114 (30) E6089-E6096. <https://doi.org/10.1073/pnas.1704949114>

人の命とその生存は、環境に依存している。新型コロナウイルス（Covid-19）の出現により、私たちの健康、環境、経済の機能が自然によって支えられていることが浮き彫りになった。このような種類の病気に関するリスクは、健全な環境と多様な種によって抑制されている。³ 人間が自然を極端に変えると、パンデミックが出現する条件を創り出してしまふ恐れがある。

環境破壊を経済開発の残念な副産物であると捉える見方は、もはやできない。むしろ正反対だ。自然と私たちとの虐待関係が、世界経済に 8 兆米ドルをも投入しなければならないほどの穴を生み出し⁴、失業率と社会的不公正を増幅させる原因となっている。最近の分析結果によると、Covid-19 はわずか 25 週間で、世界開発のアジェンダを 25 年分、後退させたそうだ⁵。

私たちが自然を保護すれば、自然も私たちが保護してくれる。

世界の GDP（国内総生産）の半分は、授粉、水質、病害対策など、自然⁶や自然によって提供されるサービスの恩恵に負うところが大きい。さらに多くの業界が自然に依存していることは、そのサプライチェーンの中で認識されていない。

それにも関わらず、世界経済はただ乗りで自然の恩恵に預かることをやめようとしなない。この報告書は、世界最大級のいくつかの銀行が、政府や政府や科学者が生物多様性の破壊の主な推進要因であると認める経済セクターで事業を営んでいる企業に提供しているローンやアンダーライティング（引受業務）を数量化しようとする初の試みである。

評価対象となった資金の大部分（66%）は、生物多様性の喪失の直接的原因となる活動（例：漁業、採鉱など）に関連しており、34%は生物多様性の喪失を間接的に推進する企業に投資されていた（例：小売業からサプライチェーンに沿って需要を推し進める、原材料の需要を生み出す建設業など、商品を加工・売買するなど）。

生物多様性に関する銀行の方針を分析した結果、そのような融資活動が原因でもたらされる環境への影響を測定、報告、徹底的に低減するのに十分なシステムを導入している銀行は1つとしてなかった。平たく言うと、銀行は生物多様性の危機に取り組むことに対して乗り気でなく、その準備もできていないのだ。

³ Keesing, F., Belden, L., Daszak, P. et al. (2010). Impacts of biodiversity on the emergence and transmission of infectious diseases. *Nature*, 468, 647–652. <https://doi.org/10.1038/nature09575>

⁴ Givetash, L. (2020, July 23). Preventing the next pandemic will cost \$22.2 billion a year, scientists say. *NBC News*. https://www.nbcnews.com/news/world/preventing-next-pandemic-will-cost-22-2-billion-year-scientists-n1234688?cid=sm_npd_nn_tw_ma

⁵ COVID-19 has set global health progress back decades: Gates Foundation (2020, September 15). <https://www.euractiv.com/section/health-consumers/news/covid-19-has-set-global-health-progress-back-decades-gates-foundation/>

⁶ World Economic Forum (2020, January 19). *Half of World's GDP Moderately or Highly Dependent on Nature, Says New Report* [Press release]. <https://www.weforum.org/press/2020/01/half-of-world-s-gdp-moderately-or-highly-dependent-on-nature-says-new-report/>

この報告書で評価の対象となった銀行に関するその他の主な調査結果:

- 本研究の対象となった50の各銀行は、それぞれが平均して520億米ドル程度の融資と関係していた。この範囲は、最大規模の投資企業で2100億ドル超、最小規模でも13億ドルに及ぶものだった。
- 生物多様性のリスクに最もさらされている10の銀行のうち、上位3行は米国に本社を置いている銀行だった。50の銀行が提供しているすべてのローンおよび引受業務の約26%は、バンク・オブ・アメリカ、シティグループ、JPモルガン・チェースと関連していた。もう1つの米国の銀行であるウェルズ・ファーゴが、生物多様性のリスクが高い産業セクターへの投資機関として第5位につけた。
- 評価の対象となった上位10行の銀行の中には、日本の銀行も3行あった（みずほフィナンシャル、三菱UFJフィナンシャル、三井住友銀行）。
- 評価対象となった上位10行の銀行のうち、欧州の銀行はBNPパリバ、HSBC、バークレイズであった。
- 世界最大と見なされている中国の銀行群も、リストの下の方に名を連ねている。
- ローンおよび引受業務すべてのうち32%はインフラストラクチャ、25%は金属・鉱業、さらに20%は化石燃料に関連していた。
- 食糧生産（農業、漁業）は全投資の10%にしか関連性がないが、このセクターは地球規模の生物多様性に最も大きな影響を及ぼすと考えられている⁷。

絶滅を防ぐには、銀行が資金供給を停止しなければならない。

科学者達や政府は、世界の食糧生産システム、林業、鉱業、化石燃料、インフラストラクチャ、観光事業、物品や人々の移転などがすべて、世界絶滅危機の主な推進要因として特定済みであることを認めている⁸。こうした活動の多くは企業によって行われているが、この活動に資金を供給し、活動を可能にしているのは金融セクターである。

政府や科学者達が、地球や社会の破壊を加速させると認めているセクターに対して、決断を下し、投資しているのは銀行である。最近のスキャンダル⁹により、世界最大の銀行のいくつかは、この状態を放置していたらこのシステムをゲームのように操作するで

⁷セクターの投資額の総計は実際の融資総額よりも高くなっているが、これは産業セクターの中に、生物多様性の喪失を加速させる複数の要因と関連しているものがあるためである。

⁸ Balvanera, P. et al. (2019, May 31). Chapter 2. Status and trends; indirect and direct drivers of change [draft]. *IPBES Global Assessment on Biodiversity and Ecosystem Services* [draft].

https://ipbes.net/sites/default/files/ipbes_global_assessment_chapter_2_1_drivers_unedited_31may.pdf

⁹ Smith, E. (2020, September 22). Blame the system for FinCen files, not the banks, experts urge. *CNBC*.

<https://www.cnbc.com/2020/09/22/blame-the-system-for-fincen-files-not-the-banks-experts-urge.html>

あろうことが明らかになった。この金融セクターのその他の関係者も、自然破壊を加速させるセクターへの資金提供に加担している可能性が高い。

政府や科学者達は、現在の生物多様性の危機を食い止め、これを逆転させるのに必要なものが、斬新な変革¹⁰以外にないことを認めている。政治経済のあらゆる要素—銀行、規制機関、その他の金融関係者、司法、政府、市民が力を合わせて、具体的な行動を起こさなければならない。金融システムを統治・推進する立場も含めて金融システムを構成するあらゆるメンバーが行動を起こし、正しい規則、責任、文化を作り上げ、自然の衰退を食い止めて逆転させなければならない。

現在の気候、Covid-19、生態学上の危機は、地域社会や活動家達に根本的な改革をもたらしている。金融業界やその他の経済関係者が寄附金などについて受ける厳しい監視・取り調べも、増加の一途を辿っている（本報告書の第3項を参照）。限られた事例ではあるが、生物多様性のリスクにどの程度さらされているかを測定して、対応を開始した銀行や金融業界もある。生物多様性の喪失を開示する新たなアプローチ¹¹や、金融による生物多様性誓約（FBP: Finance for Biodiversity Pledge）¹²などの新たな取り組みも最近スタートしている。このような進展は、監視を受けながら慎重な姿勢で迎えられている。しかしこれらは、事業を行っている銀行や統治システムが大至急行うべき変革的行動の代わりになるものではない。

要求:

金融セクターは大量絶滅の危機に資金供給を続ける一方で、人権や先住民の統治権を弱体化させている。

この報告書は、以下の内容を求めるものである。

- 銀行に情報を開示し、自然への影響を徹底的に減らして、新たな化石燃料、森林破壊、魚の乱獲、生態系の破壊への投資を止めてもらうこと。
- 政府に生物多様性の破壊における銀行の役割を保護することを止めてもらい、融資に起因する損害に対して、銀行に責任を取らせるように規則を書き換えてもらうこと。
- 世界中の人々に、自分の財産がどのように投資に使われているかに関して発言する権利と、銀行が人々や地球に重大な危害をもたらすのを止めさせる権利を持たせること。

¹⁰ Diaz, S. et al. (2019). *Summary for policymakers of the global assessment report on biodiversity and ecosystem services of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services*, IPBES.

https://ipbes.net/sites/default/files/2020-02/ipbes_global_assessment_report_summary_for_policymakers_en.pdf

¹¹ Task Force on Nature-Related Financial Disclosures (2020). <https://tnfd.info/>

¹² Finance for Biodiversity Pledge (2020). <https://www.financeforbiodiversity.org/>

銀行に回答を頼ることはできない。私たちは自然を保護し、復旧させるために、金融システムが法的責任、アカウンタビリティ（説明責任）、責任義務を作る方法を抜本的に見直す必要がある。

図 1: 生物多様性への影響のリスクに直接的・間接的関連がある銀行のローン・引受業務 (米ドル、百万単位)、および生物多様性の影響のリスクがある融資の割合 (パーセンテージ) (総資産と比較) (2019年、米ドル、百万単位)

